

水土里情報活用ニュース・レター

第 138 号

2020/1

目 次

1. 被災農地の復旧状況を見える化（岩手県） …… 1
2. LGWAN 回線とインターネット回線双方から利用可能な水土里情報クラウドシステムの導入について紹介します（神奈川県） …… 3
3. 水土里情報を活用した制水弁マップについて紹介します（滋賀県） …… 5
4. 水土里 Maps における法務局登記情報の活用について（岡山県） …… 7
5. タブレットを利用した農地利用状況の現地調査について紹介します（長崎県） …… 9

■お問い合わせ先（全体）

農村振興局整備部設計課計画調整室 長期計画班 三田村、北條（電話番号）03-6744-2201

水土里情報を活用した制水弁マップについて紹介します。

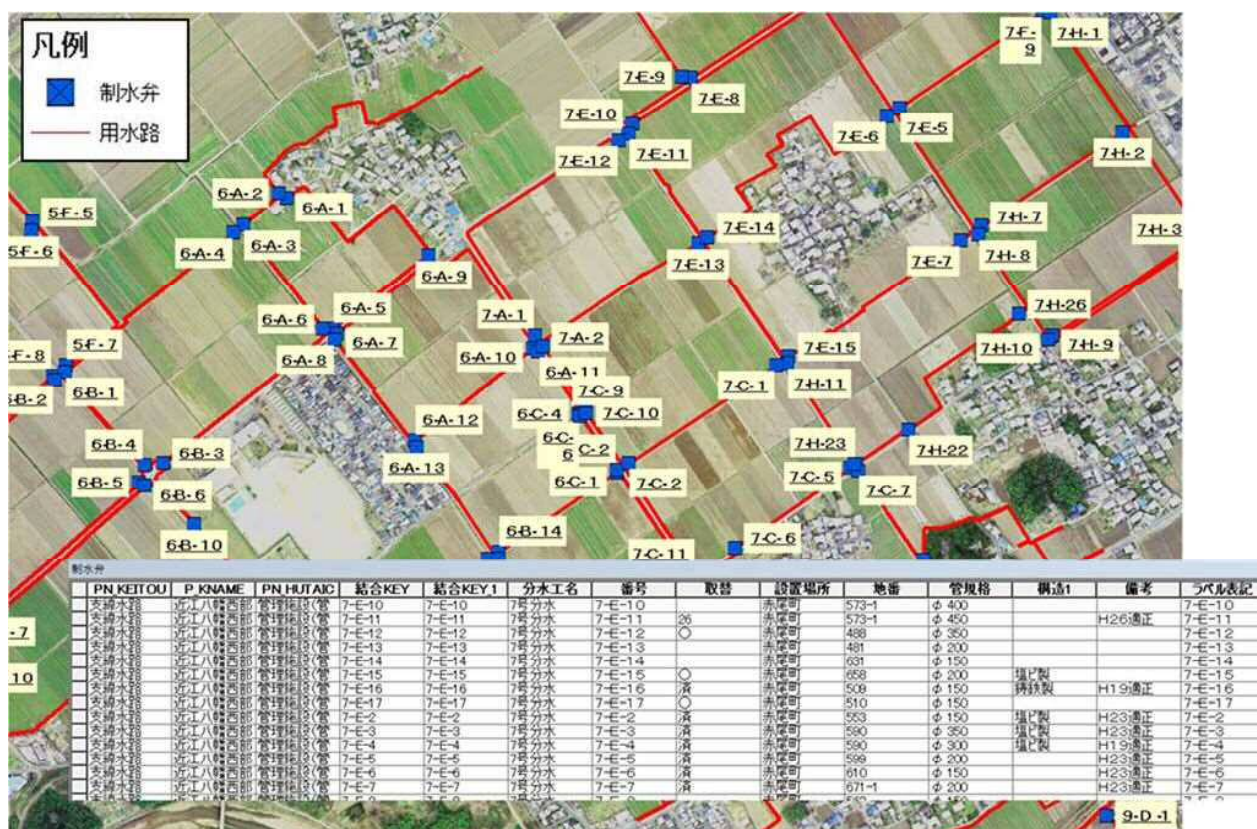
今回紹介する団体：水土里ネット滋賀、近江八幡西部土地改良区

取組概要

内容：土地改良区で管理しているパイプラインの制水弁位置をGIS上にプロットし、管が破損等した場合どの制水弁を止水すればいいのか、また影響を受ける農地筆はどのエリアなのか把握できるように整備を行った。

整備した情報は、紙ベースで地元（地区水利委員）と共有化し施設管理に活用している。

- 経緯：① 農業水利施設を出来高図面で管理しており、図面の一見では現地への指示に時間と労力を要していた。また制水弁位置の把握が困難であった。
- ② 管の漏水事故等が発生した場合、どこかの制水弁を止水するのかの判断に苦慮していた。
- ③ 耕作者の経験により管理を行ってきたが、突発的な緊急時でも対応が可能になる手法の整備が必要になってきた。



取組による効果

- ① 制水弁を地図上に整備したことにより、把握できていなかった制水弁の存在も明らかになった。
- ② 管路の破損等が発生した場合でも、直上流に位置する制水弁を把握でき止水が可能となる。
- ③ 制水弁を止水することにより、給水ができなくなる農地の把握が可能となる。
- ④ 地元（地区水利委員）と情報の共有を図っており、土地改良区に連絡しなくても止水が可能となる。
- ⑤ 施設情報をデータ整備することが大切だと、地元（地区水利委員）の意識改革につながった。



パイプラインの破損箇所と操作する制水弁及び影響を受ける農地の状況（例）

今後の活用予定

ArcGIS Online を利用したタブレットでの運用を行い、現地での確認作業が行えるよう改良していきたい。

GISシステムのバージョン情報

GISアプリ：ArcGIS Desktop Ver. 10.6.1

■お問い合わせ先（全体）

滋賀県土地改良事業団体連合会 業務課 基盤管理推進室 アセットマネジメント担当
0748-42-7144（直通）